



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

薬研

これは「やげん」と読みます。

漢方で生薬しょうやくを刻むとか粉末にするために使う道具です。ここは漢方薬局ですので皆さんが外から見られるように、生薬の見本や土瓶などと一緒に薬研も並べています。穿山せんざん甲こうや亀も見えますよ。

先日、部活動の帰りでしょうか、まだ声がかわいいたい小柄な男子中学生が数人、少し立ち止まって話していました。

「これって、なんやったかなあ」

「やげんって書いてるで」

「釜爺がやってたなあー」

この会話で皆さんはピンとききましたか？

宮崎駿監督のアニメ映画、「千と

千尋の神隠し」の登場人物(?)です。

八百万やおよろずの神様が集まって来る湯屋

「油屋」が舞台で、釜爺は六本の伸縮自在の手を駆使して、神様それぞれに合った薬湯を作ります。色々な

生薬を百味ひやくみ筆筒ふでづつから取り出し、薬

研を使って適度な大きさに切り薬湯

の処方原料を作ります。当薬局にも

百味筆筒はありますが、アニメ同様

なかなか漢方の雰囲気が出ています。

ちなみに、縦十七列横十四段で二

百三十八個の引き出しがあります。

釜爺は自分のことを「きき使われて

るじじいだ」といつています。気が持

ちはそうではないのでは。神様が薬湯

に入り傷を治し癒されて元気を取り

戻して帰っていただくために、熱い釜

の前で汗だくになり火を焚き薬を作

り、一生懸命働いているのでは…と思

います。八百万の神様が元気に暮ら

していただけるように、私も釜爺のよう

に一生懸命働いて、感謝の気持ちで

ちゃんと暮さないとけませんね。

母はなんだかいつも手を合わせて

いたのです。たとえば、朝は太陽さ

んに挨拶をし、かわいく咲いた花に

も話しかけ、月を仰いでは無言で手

を合わせ、寝床で読む楽しみの新聞

に、「今日も一日ありがとう」なん

て、わけのわからない可笑おかな感謝をいつていました。

さて話を戻しまして、当薬局の薬

研は鉄製で、ずっしりとかなり重い

ものです。舟形をしていて三角の船

底部分に生薬を入れ、重い円盤の真

ん中に手の握りが頃合いの太さの木

を通した薬研車を前後に動かして潰

します。体重を掛けるとごりごりと

重い物が揺ゆり潰つぶしあう音がします。

今は、各生薬に適した処理を施され

た製品がありますので、薬研を使う

薬剤師はあまりないかと思ます。

しかし、骨董品扱いの薬研を見つ

けて名前を覚えてくれる中学生がい

るのは、嬉しいかぎりです。将来の

薬剤師君かも。アニメの釜爺が作る

生薬の薬湯は、神様もいかに気持ち

ちよさそうでした。皆さんも一日の

疲れを癒す生薬のお風呂を試してみ

てください。

いい香り！

(東灘区 赤船漢方薬局

鹿嶋純子)